

河北潟流域シンポジウム

河北潟と流域の環境保全と賢明な利用に ラムサール条約は活用できるか

石川県の河北潟は、多様な野鳥が生息し、シギ・チドリ類の渡りの中継地としても、コハクチョウなどの越冬地としても重要な湿地です。全国的には、ラムサール条約と地域農産物のブランド化を結びつける取り組みなど、ラムサール条約が地域の農業やその他の産業にとってメリットとなる状況も生まれています。そこで、今回はラムサール条約について詳しい識者をお呼びして、ラムサール条約登録した地域の事例や、河北潟の野鳥について理解を深め、ラムサール条約登録を進めることによって、河北潟流域の環境保全と賢明な利用が促進される可能性について探ります。

2019年3月17日(日) 13:00-17:30

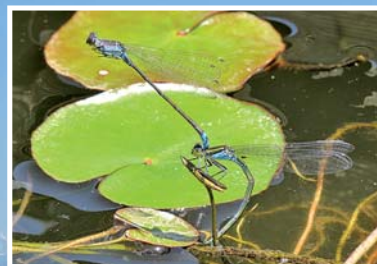
会場 金沢市近江町交流プラザ集会室
金沢市青草町88番地(近江町いちば館4階)

主催 河北潟湖沼研究所

協力 ラムサール・ネットワーク日本

参加費 無料(先着90名)

申込方法/ 3月10日(日)までに、裏面もしくはウェブサイトの
申し込みフォームからお手続きください。



このイベントは平成30年度地球環境基金の助成を受けています。